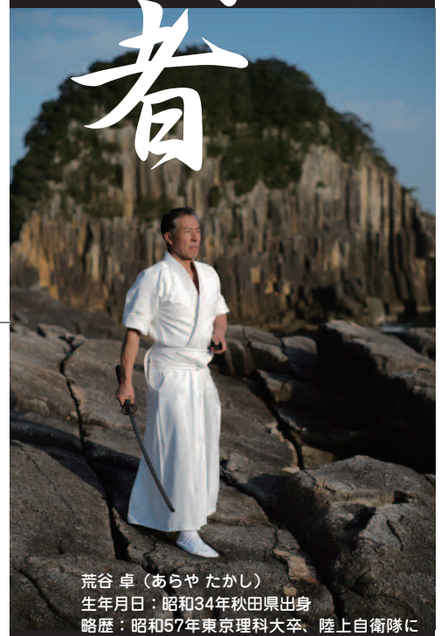
# 日本の戦闘者



荒谷 卓（あらや たかし）
生年月日：昭和34年秋田県出身
略歴：昭和57年東京理科大卒、陸上自衛隊に入隊、第19普通科連隊、調査学校、第1空挺団、第39普通科連隊、陸上幕僚監部防衛部、防衛局防衛政策課戦略研究室等に勤務。平成16年特殊作戦群初代群長に就任。平成20年依願退職（1等陸佐）。
海外留学：ドイツ連邦軍指揮大学及び米国特殊作戦学校。
平成21年9月～30年10月、明治神宮武道場至誠館館長。
平成30年11月三重県熊野市に「国際共生創成協会：熊野飛鳥むすびの里」設立、代表を務める
著書：『戦う者たちへ』『サムライ精神を復活せよ』『特殊部隊vs.精鋭部隊―最強を目指せ』並木書房／『自分を強くする動じない力』三笠書房／『日本の特殊部隊をつくったふたりの“異端”自衛官―人は何のために戦うのか！―』ワニプラス
熊野飛鳥むすびの里のHPアドレス
https://musubinosato.jp/



国際共生創成協会 熊野飛鳥むすびの里
代表：荒谷 卓

日本の戦闘者の資質の4つ目は「智力」について話をする。「知力」でなくて「智力」だぜ。「知力」は、学校などで啓蒙された知識、テレビ等で与えられた情報を丸暗記する力だ。「智力」は自分の体験や自己修養から身につける力だ。

最近は、やたらと物知りな奴が多いが、こんな奴に限って「智力」がない。与えられた知識でしか物事を見ることが出来ないから、直観も働かないし、自分で物事に興味をもって観察も分析もしない。与えられた知識の範疇だけで知ったかぶりをして、物事を決め込んでしまうわけだ。わからないことがあると、自分の頭で考えることなしに、すぐにネットで検索だ。仕事は、指示命令がないと動かないし、言われたことしかしない。挙句の果てに、自分の生き方まで既成の選択肢の中からしか選べないから、マニュアルの無い人生の問題に直面すると何も答えが見いだせなくなっちまう。

こんな奴は、西洋式奴隷軍隊では列兵として使い道があるだろうが、日本の戦闘者としては使い物にならない。自衛隊でも「命令があれば行きます！」なんてことをいう奴がいたが、日本が滅びようとしているときに「命令がなければいかないのか！」「命令の内容がおかしくてもいくのか！」と言いたくなっちまうよ。要するに、自分で何も考えないということだな。

今、戦後に生まれた俺らが与えられる知識は、何から何まで俺ら日本人を管理するために加工されたものばかりだ。日本人の歴史はこてんこてんにけなされ、共産主義社会のように、民族としての歴史的断絶状態にある。こうなったのは、日教組の左巻きの先生のせいでもなく、ソ連や中国の圧力でもない。日本を占領した米国とその下にできた傀儡政府がそういう教育をしたんだ。テレビのへんてこ報道も中国がそうさせてるんじゃないよ。占領下に完全に報道を支配下に置き、戦後も株主として日本の大手メディアを管理し続ける米国とグローバリストがそうしてることぐらい常識だろ。でも、テストと試験でいい点を取るために模範解答に疑問を抱かず丸暗記する教育訓練を徹底された「知力」しか持たない日本人は、そうした悪意のある知識に問題意識も持たないだけではなく、その通りの思考しか働かない。完全に占領政策にやられちまったようだ。これじゃまるで検索エンジン付きの記憶媒体のようなもんだから、情報をコントロールするグローバルエリートにすれば端末機器のように管理しやすいわけだ。

一つの例を挙げよう。日本国憲法特に9条の改正についてだ。俺も20歳代前半ぐらいまでは、9条改正を強く思っていた。それは、日本が占領体制を打破し国体を立て直し、自立して日本を守るために必要だと考えたからだ。しかし、今の憲法9条改正の動きは全く異なる。米国の軍事戦略下に自衛隊を使えるようにするための憲法改正が目的だ。これぐらいは「智力」があればわかるよな。今でさえ、グローバリストや米国に言われるままに日本の土地や資産を略奪され、税や投資で国民の個人資産迄取り上げられ、挙句の果てには医療や食品の規制を変更して日本の人口削減に国を挙げて協力している状態なのに、今度は全く必要もない戦争にまで駆り出されてウクライナのように国を亡ぼすことになる。つまり、今9条を改正すれば占領政策の終末段階ともいえる「用済み使い捨て」になっちまうってことだよ。ところが、占領下に日本人の価値観や行動理念を根本から変えるための「日本人の再方向づけのための積極的政策」に基づいて行われたIWGP「ウォー・ギルト・インフォメーション・プログラム」や占領軍が草案した憲法には反対すると言っている保守とか自衛官OBとかまでが、「9条改正は国民の彼岸」とかぬかして賛同している。これが「知力」でしか物事を見れない人の実態だ。米軍の占領体制の延長に今の9条改正があることにすら頭が働かない。こいつらの最大の問題は、知識量が多くて試験の成績がよかった自分は賢いと思っていることだ。「だって、サンフランシスコ講和条約で日本は主権を回復したじゃないか」とか、「今は中国の脅威に対抗するためには日米同盟が不可欠だ」みたいなことを言い出す。その知識が全部デタラメなんだよ。戦後ずっと続いていた中台問題に全く無関心だった日本が、中台が経済的にほぼ一体化した今頃になって急に「台湾有事は日本有事」とか言い出したり、海外での領土紛争にも全く無関心だったのに、安全保障上全く無関心だったウクライナに間接的武器援助や借金の保証人みたいなことまでやり出している。なぜ、突然こんなにも我が国の国防政策に急激な変化が生じたのかということに疑問も覚えないのか。英米経由の報道だけで中露批判をしているが、戦前は同じ手口で日本も米英にやられたんだぜ。自分の国の歴史体験を学習して現在起きていることがらを見極める「智力」の欠如だ。米国とグローバリストから与えられた価値と尺度でしか物事を考えることが出来ない売国奴に日本を滅ぼされるのはまっぴらごめんだぜ。

禊行を通じて、己の生きる目的を見定める筆者。

腹立たしい話はここまでにして、では日本の戦闘者の「智力」について話をするよ。先ずは、何事も自分を主体であり当事者であるという意識を持つことだ。宇宙を見るときにも、自然を見るときにも、自分は宇宙を構成し自然の一部として認識するわけだ。そうすれば、宇宙と自然の問題は自分の問題となり、答えは自分の中にあることに気づく。日本の歴史を学ぶときは、自分が日本の歴史そのものであり、真只中にいると認識する。そうすれば、日本の過去と断絶することが出来るはずもなく、歴史を学ぶ態度は自分の歴史を知るためのものになる。日本の歴史の主体者である以上、日本の問題は自分の問題であるから、自分の事として正していかなくてはならない。自分が日本であり、未来の日本は俺が主体的に関わるべきものだと考えるようになるわけだ。日本人として、日本に生まれ、日本に生き、日本で死んでいくと決めれば、力を尽くしていい日本社会を創ることに専念するしかなくなるんだよ。全ては自分の事であり、自分で考え行動しなくてはいけなくなるってことは、日本の事を他人に任せたり、他の国のものまねばかりを主張する奴に同調できるわけがない。だから自分で智慧を絞るようになる。その積み重ねが「智力」になるわけだ。戦後教育では、自分の国の歴史を第3者の立場から眺めているから、過去と現在、現在と過去の関わりがわからなくなる。自分が何者かわからなくなってしまうから、米国を見習うべきだとか、いや中国がいいとか言い出す。中には、よその国に住み着いてしまう奴がいるが、その国に危機的状況が起きれば、よそ者として殺されるのがおちだ。

俺の経験から言えるのは、一つの事を常に思っていると、たいがいのことはその思いのようになるもんだよ。その思いが深ければ深いほどいろいろなアイディアも出てくるし、そのために行動することに躊躇が無くなる。これが「智力」というものだ。日本人という集団への強い帰属意識と日本人としての主体性があれば、日本を良くしたいという思いが出てくる。俺の場合、朝起きて考えるのは、『今日も日本のために一生懸命頑張ろう』ということ。何をするときも『日本のためにはどうしたらいいだろうか』と考え、成功するかどうかを考える暇があったらとにかくやってみる。やってみて、『これは日本のためにならない』と思えばすぐにやめる。日本のためになると思えることは何が何でもやる。結局、日本の事を常に考えその思いが深ければ、自然といろいろなアイディアや活動が出て来て、同志も集まり組織が出来てくる。これは「智力」がなくてはできないことだ。ご先祖は、何を思って家を創り、村を興し、田畑を開拓し家業を立ち上げたのか。その思いを胸に、自分は何をするべきか、それによって子孫はどんな生活をすることになるだろうかと思案し、試行錯誤しながら、良き家、良き村、良き社会そして良き国家の創造に参画し、少しでも成果を上げるよう力を尽くす。その成果を見る尺度は、収入だとか幸福度だとか他者が決めた尺度で測るものではないし、今の時代にしか当てはまらない尺度で見てはいけない。家の歴史、村の歴史、国の歴史の中に自然と語り継がれる中に、ちゃんとその成果があり続ける。自分達の子孫の生活そのものが俺たちの成果になる。

「智力」は、体験、体得、体現というプロセスの中で、自分で知識を生み出す。物事の良し悪しや、真偽を図る尺度が自分の中から形成されていくんだ。尺度が自分の中にあれば、外の尺度を気にする必要はなくなる。外にある知識は参考にはするが、そんなものに振り回されることはない。最も信頼できる知識は、自分の経験から生まれたものだ。だから、大事な事を決めるのは自分の「智力」だ。

日本の戦闘者に「智力」がぜったいに必要なのは、こういう理由だ。軍事に関する知識がいくらあっても、法律や政策に精通していても、自衛隊に何十年いても、日本人としての「智力」を磨いてないやつには国は守れねえよ。力は微々たるものでも、日本の歴史の主人公になりききって、『日本は俺が守る』と決めて努力と経験と学習を積み上げてきた「智力」のある奴じゃなきゃ日本を守る日本の戦闘者とは言えないってことだ。

己の生き方を神々に問いかける筆者。



44-45.indd 44-45 2024/12/19 11:37